



就任のご挨拶

安田 仁 一般社団法人 日本エレクトロヒートセンター 理事 事務局長

去る6月4日に開催された、第20回定時総会での承認をもちまして、松岡前事務局長の後任として、一般社団法人日本エレクトロヒートセンターの事務局長に就任いたしました。伝統ある当センターの運営の一端を担うという重責に、身が引き締まる思いであると共に、これからの活動に大きな使命感を感じております。微力ではございますが、我が国におけるエレクトロヒートのさらなる普及と、会員の皆様の事業の発展に全力を尽くす所存です。

私自身とエレクトロヒートとの関わりは、2000年代、東京電力株式会社（当時）の法人営業部において、産業分野の電化推進に携わっていたことに遡ります。当時は「電化ファクトリーの推進」を旗印に、私自身もお客さまの工場の現場で手を取り合い、一步一步プロジェクトを進めてまいりました。工場内の化石燃料による熱利用の実態や、各生産工程における課題の把握を踏まえ、どの工程において電化が可能かを抽出し、さらには最適な電化を実現するための機器導入に向けた研究開発、そして実際の機器導入に至るまで、一連のプロセスを積み重ねた経験は、私の原点となっています。お客さまと心をひとつにして取り組み、電化によって生産性や品質、労働環境が劇的に向上した瞬間の喜びは、今も鮮明に記憶に残っています。

歳月は流れ、現在、エネルギー・環境を取り巻く情勢は、大きく変化しています。我が国が掲げる2050年カーボンニュートラルの実現や、2030年度の温室効果ガス削減目標の達成に向けて、産業・民生部門におけるエネルギーの構造転換が猶予なく求められており、効率的かつ高密度な熱利用を可能にするエレクトロヒートへの期待が高まっています。

このような中、当センターでは、エレクトロヒートに関する最新動向や応用技術、導入事例の紹介等による「情報蓄積・発信」、カーボンニュートラル支援講座や電熱講座、産業用ヒートポンプ導入ガイドの活用等を通じた「人材育成・技術力向上」、関係団体と連携した政策提言活動や、委員会・部会を通じた会員間の交流の活性化による「ネットワークを活かした活動・組織基盤の強化」の3軸を基盤に活動を進めてまいりました。その成果として、行政等において、当センターの政策提言を踏まえた取り組みが具体化するとともに、エレクトロヒートの普及が、現場での実践フェーズに入りつつあります。当センター創立20周年を迎えるにあたり、これらの実績をしっかりと受け継ぎながら、次の20年に向けて、さらに導入支援を強化してまいります。

変化の激しい時代だからこそ、会員の皆様の声に真摯に耳を傾け、付加価値をご提供できるよう、組織の柔軟性と機動力を高めてまいります。当センターが安心感と信頼感のあるパートナーであり続けられるよう、事務局一同、誠心誠意取り組んでまいります。

結びに、会員の皆様のますますのご発展とご健勝を祈念いたしまして、私の就任の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(やすだ じん)